

次期廃棄物処理施設整備基本計画の策定について

基本計画策定の目的

七五郎沢廃棄物最終処分場は、使用年数が残り 12 年程度と見込んでいるほか、中間処理施設であるリサイクルセンターは、機器設備の老朽化が進んでいる状況にあることから、新たな廃棄物処理システムの方向性とその処理に必要な中間処理施設および最終処分場の整備の基本的な考え方を示すことを目的に、今年 3 月に次期廃棄物処理施設整備基本構想を策定しました。

令和 8 年度からは、策定した基本構想を踏まえ、将来推計に応じた施設規模や処理型式、建設候補地に合わせた施設配置計画など、整備に関する具体的な項目を盛り込んだ次期廃棄物処理施設整備基本計画を策定します。

新たな廃棄物処理施設の整備の方向性

【新たなごみ処理システムを踏まえた環境への負荷の低減に配慮した施設】

施設整備の基本方針

- ・再資源化の促進と最終処分量の抑制を図る、効率的な資源化施設
- ・処理工程による最終処分量の減少を考慮した適正な規模や周辺環境に配慮した最終処分場

施設の整備の方向性

・ 経済性・効率性に優れた施設

環境負荷の低減や地域社会との融和，経済性に配慮し，施設整備費と維持管理費を含めたライフサイクルコストの低減を図ったコンパクトな施設を目指します。

・ 破碎・選別工程の導入

破碎設備を備えた効率的な施設の整備を検討し，再資源化の促進と最終処分する廃棄物の減容および処分量の削減を目指します。

・ 周辺環境への配慮

周辺環境との調和を図るとともに，地域住民からの理解が得られるよう，最適な処理方法・構造等を検討します。

・ 市民に有益な跡地利用と環境学習機能の付加

市民に有益な廃止後の跡地利用の方向性や，環境啓発・情報発信のため，施設見学や 3 R 啓発のための機能を備えた市民に広く親しまれる施設について検討します。

整備する施設の概要

○資源化施設

- ・ 供用期間 35 年程度
- ・ 施設規模

処理対象物	計画処理量
燃やせないごみ	7,218t/年 (32t/日)
粗大ごみ	504t/年 (3t/日)
缶・びん・ペットボトル	4,350t/年 (20t/日)
プラスチック容器包装 プラスチック使用製品	2,697t/年 (12t/日)
合 計	14,769t/年 (67t/日)

○最終処分場

- ・ 供用期間 15 年
- ・ 構造形式および浸出水処理の方式 建設候補地の選定にあわせて検討
- ・ 施設規模

項 目	オープン型	被覆型
埋立容量	230,000 m ³	
埋立面積	40,000 m ²	

基本計画に盛り込まれる事項

・ 全体計画

施設整備方針，環境保全計画，全体施設配置計画，施工計画，跡地利用など

・ 資源化施設整備計画

処理対象廃棄物，施設規模，搬入出条件，品質条件，処理方式，処理残さの処理，プラント計画，土木建築計画，運転管理計画，事業手法など

・ 最終処分場整備計画

埋立対象廃棄物，施設規模（計画埋立容量），構造形式，遮水計画，浸出水処理施設，浸出水・地下水・雨水等の集排水施設，ガス抜き施設，搬入管理，事業手法など